

# kocv news

http://kocv.jp e-mail:info@kocv.sakura.ne.jp

魅力ある人間とは何か？ 凛々しい人、清潔感ある人、さわやかな人など様々な表現があります。それが本物が偽物を簡単に知る時が日常生活でも起こります。たとえば、トラブル発生時の行動に現れます。不平不満をまき散らすことなく、笑顔を忘れず前向きな気持ちで行動できる人は自然と周りの人をも元気付けます。この人が普段は目立たない人であったとしても、光り輝いて見えるものです。10人寄れば10人の個性があります。スーパーマンは映画の世界の人です。我々凡人は、一つでいいから輝いているものを持ちたいですね。

## 報告

### 「沖縄マラソンに出走しました」

西山英治 (H7-3, コスタリカ)

2007年2月25日沖縄本島の朝は、小降りの空模様でした。スタート地点の競技場はたくさんの人で埋め尽くされていて、受付にたどり着くまでが一苦勞でした。私の受け取ったゼッケン番号は6068番、一万人近い人が参加するのでこれだけ混雑しているのだと改めて規模の大きさに驚きました。

9:00am に号砲と共にスタート、そして数kmまでは大混雑の中、周りの人を見渡すという色々な人が思い思いの格好で黙々と同じ方向に向かって進んでいるのは、まるでお祭り気分でした。

目の不自由な人は伴走者にサポートされ、男子高校生の団体は足並みをそろえてしかも掛け声をかけながら、一杯飲み屋さんのグループはおそろいの宣伝用Tシャツを着て、元気一杯のギャル達は真っ赤なジャージ上下に包まれて背中には「ZOKKON」という文字が、70歳を超えていると思えるおばあさんは両足をしっかりとテーピングして、そして子供の頃に小児麻痺だったのか片足が不自由な青年もいて、十人十色というよりも百人百色でした。

10km付近までは海岸線に沿って走りそこから長い上り坂とその後アップダウンの連続がありました。次第に両足全体に負担を感じてきて、20kmではもうほとんど走れなくなってしまいました。どこが痛いということではなく、筋肉、関節、足の裏すべてが限界を感じていて歩くことしかできなくなってしまったのです。棄権しようかなと頭の中をよぎりましたが、回りのみんなは黙々と私と同じように歩いているではありませんか。沖縄まで来て、ここで諦めるのはもったいない、「歩き」に変えていけるところまでがんばることにしました。沿道には地元の人たちが黒糖、塩、バナナなどの差し入れに加えてエアサロンパスサービス、さらに小学生達による和太鼓の応援があり、とても元気付けられました。

制限時間が気になりだしたころ嘉手納基地が見えてきました。ゲートは開放されておりランナー達はそのまま基地内へ入って行きました。そこはまさに「アメリカ」でした。やがて後方からバスの気配が感じられ振り向くとピックアップのバスでした。とうとう制限時間オーバーとなり、今回のフルマラソン挑戦は終了しました。スタートしてから30km余り、4時間半が経過していました。帰りの満員バスの中、みんなはどんな思いでいたのでしょうか、ゆったりとした静かな空気に包まれていました。

翌日の沖縄本島は雲ひとつない全くの快晴、見渡す限りどこまでも続く広い大きな空、そして目の前に広がる大きな海、そんな沖縄に心を残したまま、体だけが羽田空港へ到着してしまいました。また来年再挑戦するのかしないのか思案中ですが、今しばらくは休憩します。みなさん本当にお疲れ様でした。



### 「ふれあいウォーク」第二弾の予告

大津 (H12-3, モンゴル)

昨年10月に秦野市で「ふれあいウォーク」を開催しました。今年も第二弾を予定しておりますので、みなさまの参加もしくは準備段階からのご協力をお願いいたします。計画している開催地は、神奈川県ほぼ中央部にある海老名市です。目的は、ごく素直に海老名市在住の外国人との交流はできないかなということ。日本にいる外国人は、やはり言葉の問題などあり、閉鎖的な社会になりがちであります。その外国人の方との交流をはかり、そのような閉鎖的な社会から脱出し、異文化共存を目指す一歩として、なにか共同でイベントを実施したいと思っております。海老名市は遺跡が多いので、遺跡めぐりウォークラリーなどが考えられます。神奈川県に住んではいてもこんな所も有ったのかと、はじめて見て驚く人も結構多いのではないのでしょうか。実施は10月11月ぐらゐの予定でまだまだ案の段階ですが、是非ご協力願えればと思っております。

2007年度

### JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 実施中!

JICAでは、全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的として、国際協力に関するエッセイコンテストを実施しています。

KOCVではその中学生の部の一次審査と応募勸奨に協力しています。

昨年度全国で中学生の部 28,256 作品、高校生の部 16,097 作品の応募がありました。神奈川県においては中学生の部は 2,032 作品にのぼり、対前年比で 1.7 倍に増加、全国的に見ても東京に次いで 2 位の応募数で県民の関心の高さがわかります。

応募期間は 9 月まで有り、順次審査に入りますが、審査員が 20 名程度必要になる予定です。今後審査をお願いするかもしれませんのでその節にはよろしくお願ひします。

### Yahoo とのタイアップ企画

### 海外ボランティア特集

4/10 から開始されます JICA ボランティア募集に際して、yahoo サイト内に海外ボランティアの特集ページが公開されています。

本企画は Yahoo! の全面支援を受け、国際協力、海外ボランティアへの興味・関心を高めることを目的としたページで、JOCV、SV の体験談記事をはじめ、国際協力に関するコンテンツが盛りだくさんです。

藤原紀香さんのインタビュー記事もさることながら活動紹介ではビデオ本県 OV の活躍も見逃せません。是非ご覧下さい!!こちらです↓↓↓↓

http://volunteer.yahoo.co.jp/feature/kaigai/



### OB会への寄付金のお願い

神奈川県 OB 会は現在神奈川県内に在住の協力隊 OB・OG 約 1,600 名で構成されています。これは日本全国 47 都道府県の中で東京 OB 会について第二番目の規模です。そしてその運営にはお金が必要であり、現在のところ JICA、神奈川県、そして JOCA から助成金をうけて運営資金として使わせていただいております。一方、OB・OG の皆様からの寄付金も一年間を通して約 22 万円のご協力をいただいております、たいへん助かっております。寄付金は ¥1,500 / 口でお願いしております。同封しております振込み用紙を使って郵便局から振り込んでください。また、平日昼間の窓口からの振込みが困難な場合は、ATM からですと夜間、そして休日でもご利用できますのでよろしくお願ひいたします。

2006 年度後半 (2006 年 11 月 ~ 2007 年 3 月) 寄付金納入者リスト (敬称略)

ご協力ありがとうございます。皆様から収めていただきました貴重な寄付金は、OB 会の運営資金として有効に使わせていただきます。

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 豊口 靖子  | 櫻井 研次 | 吉岡 祥子 |
| 鈴木 宏尚  | 伊藤 千晶 | 柳川 千春 |
| 石渡 義雄  | 井口 次郎 | 川内 圭輔 |
| 真木 龍也  | 霜村 忠  | 鈴木 光明 |
| 和田 迫 浩 | 田中 順子 | 山口 猛蛙 |
| 地崇 敬   | 遊佐 年雄 | 深沢 容子 |
| 滝本 美和  | 西島 睦宣 | 間澤友紀子 |
| 上坂とよ子  | 姫野 靖征 | 岩田 賢一 |
| 長瀬 修   | 松島 佳子 | 茶木 清俊 |
| 天野 準子  | 内藤 幸彦 | 池田 道宣 |
| 山田 賀子  | 小林    | 雑賀 雅人 |
| 仲野 一光  | 徳永 達巳 | 上條 明美 |
| 樋口由加里  | 西山 英治 | 藤井 克己 |
| 佐野 幸輔  | 田京 達也 | 立石 一馬 |
| 佐野 義勝  | 入部 和也 | 浅野 真弓 |
| 宮原 裕二  | 市川 澄雄 | 西村 忍  |
| 金子 洋三  |       |       |

以上



### HP掲載広告募集(無料!)

お店や会社、サークルなどの広告を募集します。神奈川県在住、在勤のOBOGの方は無料で掲載させていただきます。まずはご相談ください。

(例)

メリメリトラベル<

フィリピン旅行・雑貨専門  
sarisaritravel.sakura.ne.jp  
秋谷葉子フィリピン 10/2

お問合せ : info@kocv.sakura.ne.jp



## 2007年度のKOCV活動予定

5月19、20日	あーすフェスタ2007(本郷台)
5月26、27日	週末一泊ワークキャンプ(藤沢市)
6月3日	KOCV通常総会&講演会
7月下旬	ビーチクリーンアップ作戦(海岸清掃活動)
9月頃	開発教育セミナー
9月頃	エッセイコンテスト審査
10月	国際交流ふれあいウォーク(海老名市)
11月	横浜国際フェスティバル
11月	KOCV版募集説明会
3月頃	市民活動フェア

## KOCV-free MLの御案内



OV会の活動に参加したいのだけど、どこで何をやっているかわからないと仰るあなた。国際交流や開発教育のイベントをやりたいのだけれど、OVに仲間を募りたいあなた。KOCVではメーリングリストを設置して、情報交換を行っています。寄付金振込み用紙の通信欄に申し込み方法があります(ML登録のみも可です)。メールアドレスと隊次、職種、氏名を連絡下さい。

## NPO法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)との合同企画『週末ワークキャンプ』を開催

- とき: 2007年5月26(土)、27(日)の一泊二日
- ところ: 神奈川県内(宿泊は野島青年の家を予定)
- 内容: 有機農業の手伝い(藤沢市)
- プログラム:

一日目	
9:30~10:00	集合、移動
10:00~16:00	ワーク(12:00~13:00昼食)
16:00~17:00	宿泊場所へ移動
17:00~19:30	夕食準備、夕食
19:30~20:30	風呂
20:30~23:00	交流会

二日目	
8:00~9:00	起床、朝食
9:00~12:00	ゲーム大会
12:00~12:30	片付け、解散

- 申し込み: 同封のがきで必要事項を記入して投函してください。日帰り参加もOKです。または、電子メールをお持ちの方は下記のアドレスへはがきと同じ内容をお知らせいただければはがきでの連絡は不要です。info@kocv.sakura.ne.jp 参加者には後日、集合場所、時刻など詳細事項を別途連絡します。

ナイスとは、日本国内外でその地域に根ざしたワーク、ニーズに多国籍の人々10~20名が2・3週間共同生活を送りながら取り組んでいくことのオーガナイズ等を行っているグループです。ワークの分野は環境、福祉、農業、町おこし、建築...と本当に様々です。今回の共同企画は協力隊OGとナイススタッフの話し合いから生まれました。当日は、ナイス会員(アクティブな学生、社会人、協力隊に関心がある人)も参加します。有機農業を話し出したらとまらないユニークなおじさんと話をしたり、友人をつったり、久しぶりに土や野菜に触れてみると、ご家族ご友人の参加も合わせて歓迎しますので日程調整をよろしくお願ひします。皆様の参加を心からお待ちしております。



## 2007年度 青年海外協力隊神奈川県OB会通常総会のご案内

今年も6月に総会を下記日程で開催いたします。年に一度の総会です、日程調整をしていただきできるだけ多くの協力隊OB・OGの方々に出席していただければ幸いです。

- とき: 2007年6月3日(日) 14:00~17:00
- ところ: JICA 横浜国際センター会議室  
住所: 横浜市中区新港2-3-1  
電話: 045-663-3253
- 進行
  - 神奈川県OB会通常総会 14:00~15:00
  - 講演会  
講師: 落語家林家染二 15:30~16:20  
演題: 落語家から見た国際コミュニケーション術  
休憩 16:20~16:30  
古典落語 16:30~17:00
- 総会への出欠連絡: 同封の返信用はがきに必要事項を記入して郵便ポストへ投函してください。申し訳ありませんが、50円切手を貼ってください。(経費節減のためです)  
または、電子メールをお持ちの方は下記のアドレスへ返信用はがきと同じ内容をお知らせいただければはがきでの連絡は不要です。  
info@kocv.sakura.ne.jp

### 特別企画

## 落語家から見た国際コミュニケーション術

### 林家 染二

落語は江戸時代に出来た話芸です。落語の世界では、形骸化しつつある「情」で結ばれた近隣意識が命脈を保ち、人と人がふれあい癒される「笑い」という生きるエネルギーに満ち溢れています。

そして落語家の世界は、現代に大きなテーマを投げかける、人が人として自らの世界を構築する「人間力」そのものにより形成されています。

何気ない笑いの表現ですが、「心根の悪い者にいい事は出来ない。」と落語家の先人が言葉を遺したように、心の修練を目標としながら、従前の価値観をばかばかしく楽しく変革することによって、共感を得られる真の笑いとなるのです。その笑いの裏にあるプロセスの悲喜こもごもをご紹介します。

また国際交流が盛んな社会においても、「おはよう」から始まるコミュニケーションの扉を開け、言葉のキャッチボールによりお互いを理解し笑顔の輪を広げることが重要です。言語の語は吾の言(ことば)。言葉は、自分の心で作り出すものです。そんな言葉そのものを楽しいコミュニケーションの道具として使ってもらえる機会を落語家から感じ取っていただけたら幸いです。



## 新企画

## KOCVパッケージスタッフ および申請者募集

JOCVとしての活動を終えてからも任地への積極的な支援や協力を続けるOBOGのために、物資輸送のための費用を一部KOCVが負担する「KOCVパッケージ」を新たな試みとして企画いたしました。物資は簡単に手に入るものの、高額な輸送費で足踏みをしている人も多いのではないのでしょうか。この企画に参加したいという方、また、是非申請を受けたいという方、ご連絡をお待ちしています。

また、興味のある方は毎月の「定例会」に是非ご参加ください。

お問合せ: info@kocv.sakura.ne.jp

## 「定例会」のお知らせ

KOCVでは、月1回「かながわ県民活動サポートセンター」を借りて1~2時間程度の「定例会」を行っています。

今年は、横浜国立大学の留学生が度々参加し、KOCVイベントのお手伝いもしてくれました。

今後は、「定例会」をスタッフ同士の事務連絡の場だけではなく、OBOG同士や一般市民の方々との交流の場に開放していきたいと考えていますので、ぜひ一度遊びに来てください。

「定例会」の開催日時については、ホームページでご確認ください。

## スタッフ募集のお知らせ

KOCVの活動を、企画・運営して下さるスタッフを随時募集しています。

OBOGとして市民活動に関わりたいと考えている方、OB会のあり方に提案のある方、KOCVでどうしてもやってみたいことがある方、興味のある方だったらどなたでも結構です。

「ふれあいウォーク」や「KOCVパッケージ」もスタッフ達の何気ない一言から企画されたものです。一緒にKOCVを作っていきませんか?



### 編集後記

高野忠裕(7-1ラオス)

神奈川に来て1年になりますが、外国人・国際交流団体の多さ、協力隊OVの多さに驚かされます。

以前住んでいた青森ではOVは貴重な存在でした。そこで多少OV会のお手伝いをさせて頂いた事がありますが、今回KOCVニュースを初めて編集させて頂きましたが、可能な限り活動に参加したいと思います。今後ともよろしくお願ひします。